

対話と共創による企業価値向上を実現する ステークホルダーエンゲージメント

お客さま・パートナー企業とのエンゲージメント

お客さまやパートナー企業が抱えている課題や実現したい方向性を把握し、最適な金融・サービスや付加価値の提供を図るべく日々の営業活動に取り組んでいます。

お客さまやパートナー企業との共同事業を通じて関係構築を図り、互いの強み・専門性を融合したより良い金融・サービスを提供し続けることで、お客さま・パートナー企業や社会に対する提供価値を高めていきます。

主な対話手段や施策

- ➡ 各種営業活動を通じたコミュニケーション
- ➡ パートナー企業との共同事業や人材交流の推進
- ➡ 金融・サービスの立案など各種取り組みに関するナレッジ共有



従業員とのエンゲージメント

従業員一人ひとりが互いに尊重しながら能力を最大限発揮できる職場環境を目指し、従業員とのエンゲージメントを積極的に推進しています。従業員エンゲージメント調査で得られた意見をもとに、課題分析と今後の取り組みについて経営会議や取締役会において討議を重ね、重要な経営課題として対応を進めています。

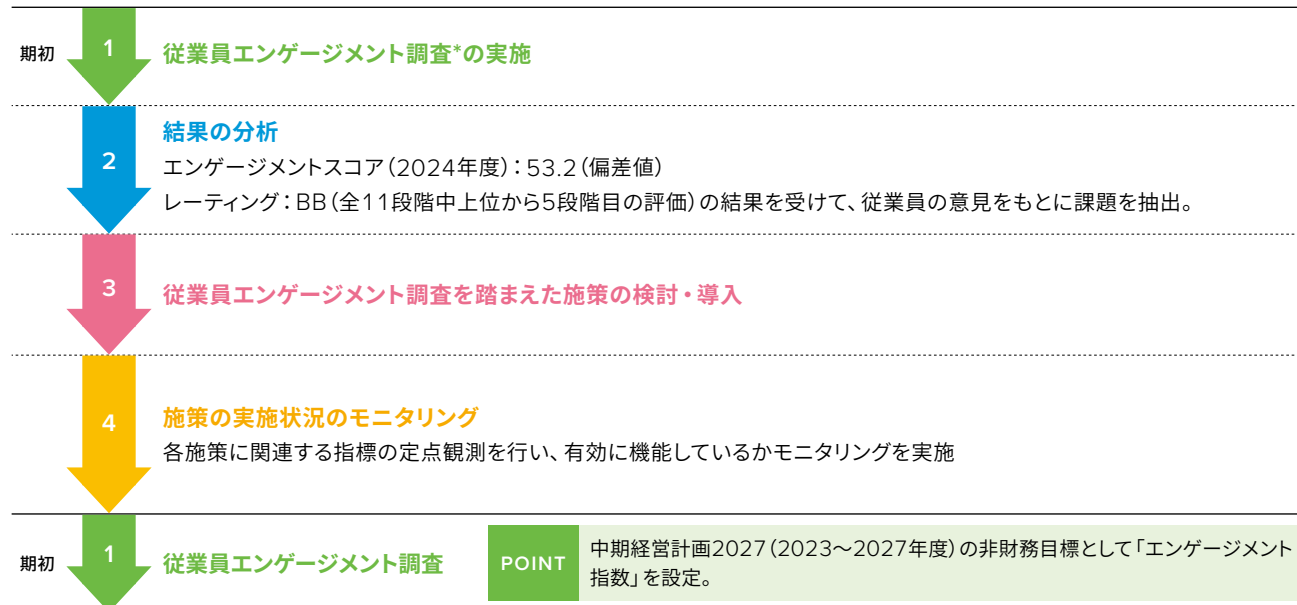
主な対話手段

- ➡ 従業員エンゲージメント調査
- ➡ キャリアデザイン室の設置(キャリア相談)
- ➡ 従業員同士の交流会「TC-Mee+」の開催(社長との交流会も開催)
- ➡ 360度評価



「TC-Mee+」開催の様子

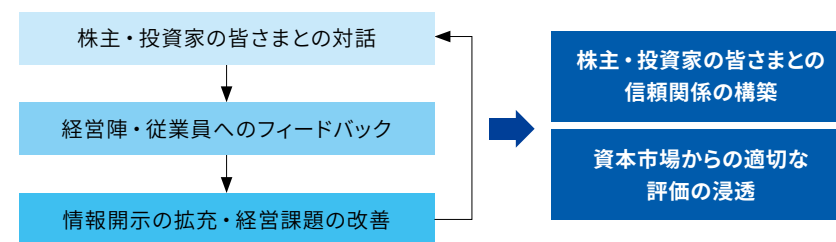
対話のサイクルによる従業員エンゲージメントの向上



* (株)リンクアンドモチベーションが提供する「モチベーションクラウド」による測定

株主・投資家とのエンゲージメント

株主・投資家の皆さまとの対話を積極的に実施し、さまざまなご意見・ご要望を経営陣および従業員へフィードバックするサイクルを軸としたIR活動を推進しています。こうしたIR活動において得られたご意見をもとに、情報開示の拡充や経営課題の改善を実現し、株主・投資家の皆さまとの信頼関係の構築、資本市場からの適切な評価の浸透を図り、中長期的な企業価値向上につなげています。



セルサイドアナリストと社長およびIR担当役員によるミーティング

主なIR活動実績

	活動	2023年度実績	内容
アナリスト・機関投資家向け	決算説明会	4回	四半期ごとに決算説明会を開催(第1・3四半期はIR担当役員、第2・4四半期は社長による説明)
	個別ミーティング	約260回	国内および海外のアナリスト・機関投資家との対話(うち海外投資家:約60回)
	スモールミーティング	4回	社長およびIR担当役員によるスモールミーティングを実施
	事業戦略説明会	1回	国内および海外の機関投資家向け事業戦略説明会
	海外ロードショー	2回	社長およびIR担当役員による海外機関投資家との面談
個人投資家向け	会社説明会	1回	会社概要や事業戦略、株主還元方針などに関する説明会

IR活動トピックス

株式分割の実施

2024年に新しいNISAが開始されることを踏まえ、2024年1月1日を基準日とし1株につき4株の割合での株式分割を実施しました。投資単位当たりの金額を引き下げ、より投資しやすい環境を整備することにより、投資家層の拡大を図ることを目的としています。

ライブ配信による個人投資家向け会社説明会の開催や投資雑誌への出稿なども積極的に推進し、当社の経営方針に対する理解を促進する機会拡充を図っています。

当社の「統合レポート2023」がGPIFの国内株式運用機関が選ぶ「改善度の高い統合報告書」に2年連続で選定されました。

年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の委託運用機関が「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」を選定したものであり、「改善度の高い統合報告書」には当社を含めた延べ100社が選定されました。

今後も、統合レポートをはじめとするIRツールの開示の拡充に注力することにより、投資家・ステークホルダーの皆さまとの対話を通じたさらなる企業価値の向上を目指していきます。

